

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和元年度)

施設の名称	宮城県ライフル射撃場
指定管理者の名称	宮城県ライフル射撃協会
施設所管部課(室)	教育庁スポーツ健康課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成20年 4月 ~ 平成23年 3月	指定管理者	宮城県ライフル射撃協会	
平成23年 4月 ~ 平成26年 3月	指定管理者	宮城県ライフル射撃協会	
平成26年 4月 ~ 平成31年 3月	指定管理者	宮城県ライフル射撃協会	
平成31年 4月 ~ 令和6年 3月	指定管理者	宮城県ライフル射撃協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県ライフル射撃協会
	所在地	宮城県利府町加瀬字南野中沢40-51
指 定 期 間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県ライフル射撃場	
所在地	石巻市沢田字金山51-1	
設置年月	昭和57年8月	
根拠条例等	ライフル射撃場条例	
設置目的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施設の内容	敷地面積	12,174.91㎡
	構造	エアーライフル射撃場 鉄骨造平屋建(覆道式) スモールボアライフル射撃場 鉄骨造平屋建(バツフル式)
	内容	<エアーライフル射撃場>26射座(電子12), 会議室兼ビームライフル射場(14射座), 事務室, 更衣室, 選手控室, 銃器修理室, 銃器保管室, 審査室, 温水シャワー室 <スモールボアライフル射撃場>26射座, 事務室, 更衣室, 選手控室, 銃器手入室, 審査室
開館(所)日	休館日(平日, 12月29日から1月3日まで)を除く土日祝日	
開館(所)時間	午前8時 ~ 午後5時	
指定管理者が行う業務の範囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可及び使用許可の取消し又は停止に関する業務 3 使用料に係る各種申請書の受付に関する業務 4 使用料の徴収に関する業務 5 施設・設備, 物品及び敷地の維持管理業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
開館(所)日数	130 日	128 日	115 日	88.5%	89.8%
延べ利用者数	4,000 人	4,381 人	3,333 人	83.3%	76.1%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
スモールポアライフル	120 人	116 人	91 人	75.8%	78.4%
エアライフル	1,300 人	1,236 人	608 人	46.8%	49.2%
ビームライフル・ビームピストル	1,500 人	1,386 人	1,488 人	99.2%	107.4%
温水シャワー	30 人	26 人	72 人	240.0%	276.9%
冷暖房施設等	2,000 人	1,556 人	1,074 人	53.7%	69.0%
会議室	10 人	2 人	0 人	0.0%	0.0%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	4,960 人	4,322 人	3,333 人	67.2%	77.1%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
県指定管理料	5,491	5,450	5,806	105.7%	106.5%
利用料金収入	2,200	2,747	2,276	103.5%	82.9%
その他	200	287	226	113.0%	78.7%
収 入 計 (a)	7,891	8,484	8,308	105.3%	97.9%

(2) 支出

人件費	1,471	1,191	1,488	101.2%	124.9%
施設管理費	4,941	4,979	4,869	98.5%	97.8%
事業運営費	1,303	2,259	1,675	128.5%	74.1%
その他		0		#DIV/0!	#DIV/0!
支 出 計 (b)	7,715	8,429	8,032	104.1%	95.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	176	55	276	156.8%	501.8%
前期繰越収支差額	55	55	55	100.0%	100.0%
次期繰越収支差額	55	55	330	600.0%	600.0%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
事業費	50	191	73	146.0%	38.2%
参加料収入	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
雑費(寄付金含む)	30	300	72	240.0%	24.0%
収入計 (a)	80	491	145	181.3%	29.5%

(2) 支出

人件費	50	0	45	90.0%	#DIV/0!
施設管理費		0		#DIV/0!	#DIV/0!
事業運営費	30	491	99	330.0%	20.2%
その他	0	0	1	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	80	491	145	181.3%	29.5%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額		0		#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(令和元年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
	評価	評価	評価	評価			
①管理運営体制	今年度も通常の管理運営体制については問題ないと思われる。新年度は更に利用者の安全確保の向上を目指し、連絡体制の確立と物資の更なる備蓄増に努めている。		今年度も特に問題も無く、例年通りの管理運営を行った。		A	事業計画に基づき、適切な管理運営体制であったと認められる。正規職員1人の他は、ライフル射撃協会員がボランティアとして補佐している。	A
人員体制	正規 1人	非正規 9人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	例年通り施設・設備の点検・法定点検等を実施し維持管理には万全を図っている。		施設・設備の維持管理についても、委託または自主点検・清掃等を行っている。		A	施設・設備の維持管理・点検等の一部を外部委託しているが、指定管理者においても、日常点検・清掃等を積極的にを行い、施設設備の不具合の早期発見・早期修繕による経費削減に努めている。鉛処分についても適切に対応している。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	①東日本夏季FP・AP・HR大会 ②東日本冬季FP・AP・HR大会 ③国体予選会の実施 ④東北ライフル射撃選手権大会 ⑤段級記録会の実施		東日本夏季FP・AP・HR大会及び東日本冬季FP・AP・HR大会を開催したが、本年度は新型コロナウイルスの影響により、全日本ライフル射撃競技選手権大会が中止になり、利用者数の減少、利用料金については、予定より減収になったが、全体としては前年度並みの収入となった。		A	新型コロナウイルス感染症の影響により、結果的に中止となったものの、日本ライフル射撃協会と連携を図り、全国規模の大会を誘致した。	A
④自主事業の実施	今年度も練習射撃場の認定及び教習射撃場の認定等、自主事業の開催が可能となった。		今年度の教習射撃利用者は少なかった。原因としては銃所持者の減少、高校大学卒業の継続しての銃所持者が減少している。		A	教習射撃場及び練習射撃場の認定を受け、競技者の練習環境の整備に努めたほか、銃保管業者の認定も受け、施設の有効活用に向けた取組が見られた。	A
⑤利用者サービスの向上	①教習射撃講習の実施 ②練習時以外に休憩室でゆっくり休めるようTVの設置及びミネラルウォーターの給水タンクを設置した。 ③ 空気銃の保管。		利用者サービスの観点から左記の内容を今年度も継続している。		B	利用者が快適に過ごせるよう、休憩室の設備に工夫が見られる。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	本年度もアンケートを実施して回答を得ているが、特に大きな施設上の問題は出していない。		今後とも大会時にアンケートを求めて行くようにする。		B	大会の都度アンケートを実施し、利用者の要望を把握するよう努めている。	A
⑦安全対策	例年に続き利用者の安全確保の為の向上を図り、災害時の射撃場での一時避難場所として利用するよう食料等は200食と水、ガソリン発電機の設置等、備蓄を始めとして連絡手段としての、衛星電話、半径10km前後の簡易無線装置等の設置を行い、万全を期している。更に今年度も備蓄等を増やしている。		災害時のみならず、通常時の利用者の安全については常時射撃場内外を点検しており、安全対策は講じられている。		A	施設、設備の自主点検を行うとともに、必要な修繕等についても適切に実施している。また、災害時の連絡体制を整え、食糧の備蓄についても配慮されている。	S
⑧県民の平等利用	特に利用拒否等はない。		県民の平等利用については、問題は無い。		A	銃刀法により利用者が限定(ピームライフルは除く)されているが、施設の利用に当たっては、適切に運用されている。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報の入っているデータは射場には普段置かないよう配慮している。又データを使用するパソコンにも暗証番号を使い勝手に使用出来ないよう配慮している。	個人情報保護規定に基づき、十分に配慮している。	A	個人情報保護規定を設置し、適切な管理に努めている。	A
⑩利用実績	今年度は新型コロナウイルスの影響により、全国レベルの大会が中止になり、利用者数・利用料金は減少した。	今年度は左記の理由により利用者数、利用料金の減少が見られた。	A	全国規模の大会を誘致するなど、施設の利用促進に努めた。結果的には、予定していた大会が新型コロナウイルスの影響により中止となったことなどが影響し、利用実績が計画を下回ることとなったが、引き続き、利用者数の増加に向けた取り組みが必要である。	B
⑪収支実績	① 27年度 2,027,550円 ② 28年度 1,965,070円 ③ 29年度 2,048,220円 ④ 30年度 2,747,220円 ⑤ 元年度 2,276,450円	利用者数が減少し、利用料金は減収となったが、新年度の利用料金の繰り上げ入金を行ったことにより、対計画費としては、増収となっている。	A	新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止等の影響により、利用者数・利用料金は減少したものの、積極的に経費の削減に努めている。	A
⑫その他の取組	射場の備品の充実と修理関係の費用が捻出できた。	本年度は電子標的設置に向けて、できるだけ業者に依頼しないで、自分たちでできる工事等を行った。	A	限られた予算の中、必要な修繕及び備品整備を計画的に実施した。	A
総合評価		年度計画等の内容と同程度の適正な管理運営を行っていると考ええる。	A	新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止等の影響はあったが、昨年に引き続き、施設の維持管理・設備の充実を図り、適切な管理運営業務がなされている。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	今後の射撃場の設備の内50m射撃場の電子標的設置がなければ今後全国規模の大会誘致は困難で、国体開催規格の第2種公認射撃場の認可も取り消しになる可能性があるため、ぜひ設置方を望みます。	50m射撃場の電子標的設置などの課題については、限られた予算の中、今後も全国規模の大会が誘致できるよう計画的に必要な施設の整備を進めていく。